



2学期のまとめの時！

山国の 虚空日わたる 冬至かな 一蛇笏一

12月22日は冬至。太陽が最も南に下る頃。古人は、これから次第に太陽が高くなるのでこの日を、「一陽来復」と言い、粥・南瓜を食べ、柚湯をわかすことを習わしとしてきました。今でも、南瓜を食べ、柚湯に入ご家庭があると思います。日本の古い習慣は、それなりに良いところがあり、大事にしたいものです。

さて、12月は最後の月で、昔の人はこの月を「極月」と呼んでいました。年の終りという意味だそうです。学校の方も、一年のしめくくりをつける月であり、一年の反省をする月でもあります。

個別懇談会でお渡しさせていただいた通知票をご覧になって、ご家庭でもいろいろ話し合われることと思います。その時に、今年はずいぶん「ピグマリオン効果」でお願いします。

ピグマリオンとは、ギリシャ伝説でキプロス島の王の名前です。彼は象牙で女像を作り自分の作った女像に恋をしてしまいます。王は、自分の作った女像が象牙でなく、恋の相手としての生ある人間であると、自分に言い聞かせ、事実そうなったということです。

このことから、親や教師が「この子はきっとよくなる」「この子にもきっとできる」と愛情ある期待をかければ、その思いが子どもに通じ、子どもは期待どおりに成長していくということです。ぜひお試しください。



ホームページをリニューアルしました！

なかなか更新ができなかったホームページですが、リニューアルをいたしました。まだ未完成ですが、徐々に充実していきたいと思います。また、リアルタイムの情報も発信し、広く学校の様子も知っていただきたいと思います。このページを通じて、保護者の皆さんの交流を広げていただければ幸いです。是非、一度ご覧ください。

<http://www2.higashiomi.ed.jp/notminamisho/>



校医の寺井先生より 図書をご寄贈いただきました！

子どもたちに読書好きになってもらいたいとの願いから、今年も校医の寺井先生よりたくさん本を寄贈いただきました。お父様が校医の時代から長年に渡ってのご厚意に感謝申し上げます。



Photo News

フォトニュース

